

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、芳川圏域） 第1回会議 議事録

開催日時	令和4年6月22日（水）9時半から11時まで
参加者	委員：10人 事務局：4人 その他：9人（市役所・区役所・地域包括支援センター）
場所	南区役所 大会議室
内容	<p>1. 開会</p> <p>2. 挨拶 芳川圏域生活支援体制づくり協議体 会長</p> <p>3. 協議事項 テーマ：居場所の活性化について</p> <p>①これまでの振り返り 生活支援コーディネーターより、昨年度の振り返りをした。</p> <p>②今年度の方向性について 生活支援コーディネーターより今年度の目標とスケジュールの案を提示した。 <u>目標：居場所を活用した買い物支援を進め、高齢者の閉じこもり防止へつなげよう</u></p> <p>③【活動紹介】（福）遠浜会「ぐっと」による野菜の移動販売について コミュニティソーシャルワーカーより、（福）遠浜会 就労移行支援・就労継続B型「ぐっと」による野菜の移動販売について紹介した。</p> <p>④【情報共有】サロン活動者にきいたアンケートについて コミュニティソーシャルワーカーより、サロンの現状や抱えている課題を地区社協のサロン活動者へきいたアンケート結果について共有した。</p> <p>⑤【意見交換】それぞれの地区における居場所の課題について</p> <p>4. 次回の協議体会議について 日時：9月22日（木）9：30～11：00 会場：南区役所 大会議室</p> <p>5. 連絡事項 〈地域包括支援センター芳川より〉 7/13（水）に開催される成年後見制度と相続についての講座を案内した。</p> <p>6. 閉会 芳川圏域生活支援体制づくり協議体 副会長</p>

〈芳川地区グループワーク内容〉

■参加者の誘い込みについて

- ・コロナ禍でもあり、行きたくない人に無理に言っても参加をしない。
- ・サロンの効果を伝えていくことも大切ではないか。

- ➡NHKの番組（ためしてガッテン 2018年）にて、人とのつながりの大切さについて放映していた。1時間歩くより1時間会話をしたほうが脳の活性化につながるそう。また、他人に親切にすると寝たきりになる確率が低下するということも伝えていた。
- ・サロンの効果を伝えていくために地区社協だよりへ掲載したり、町内新聞に載せたりしていくのも良いと思う。（昨年末に全戸配布した町内新聞に掲載し反響があった。）

■サロン活動者のアンケート結果より

〈参加者の高齢化・現象・募集について〉より

- ・男性の参加が少ない。
- ➡男性は友人などによる一本釣りでないとう参加が難しいかもしれない。
- ➡会話をあまりしたがる人も多い。サロンの内容が興味のあるものであれば参加することもある。（例：男の料理教室、お酒が飲める活動）
- ➡一例として、脳梗塞による麻痺のある方がリハビリのために作詞し、サロンでギターを用い披露した方がいた。仲間も参加し、一緒に演奏してくれたこともある。地域のなかでこのように才能のある方が参加してくれると良い。他のサロンではマジックを披露してくれた方もいた。
- ➡古川町のサロンでは、男性が多いと聞いた。他のサロンを参考にするのも良い。

〈活動の計画・内容について〉より

- ・月々の企画を考えるのが大変である。コロナ禍も考慮して、企画する必要があり悩む。サロンの内容としては、輪投げやグラウンドゴルフ（特に芳川東にて活発）に人気があると思う。輪投げを行う際に、使い捨てグローブを利用しているサロンもある。

〈河輪地区グループワーク内容〉

■アンケート結果より

- ・昼の劣化の意見については、河輪会館だと思われる。地区社協にてその声が上がっていたようだが、自治連では上がっていなかった。河輪会館を管理する自治連にて対応する。

■シニアクラブの活動について

- ・シニアクラブ河輪地区連合会の定例会には、毎回30名程メンバーが集まる。会場が河輪会館のため、そこまで自身で来られる人に限られる。来られない人たちは、地域のシニアクラブに参加している。

■夏祭りについて

- ・2年連続夏祭りを中止にしていたが、2年ぶりに花火の打ち上げのみ実施し、非常に大きな喜びを感じた。全く何もないのと、形を変えて実施するのでは、やはり気分が違う。自身の町に花火の音が響くのは、喜びがあった。
- ・2年連続祭りそのものを中止した町と花火のみ打ち上げた町がある。まだ夜店の出店や神輿担ぎの実施にはどの町も踏み切れていない。
- ・それでも花火の打ち上げだけでは、全く人が集まらないため、元の形で実施したい。
- ・東町では、町内全世帯向けに夏祭りを実施したいかというアンケートをとった。やりたいという声が非常に沢山あがった。

■その他の活動について

- ・食事会やカラオケは引き続き中止しており、脳トレや工作など工夫して実施している。
- ・敬老会は、2年連続中止であったが、一部形を変えて実施した。
- ・ふれあい大収穫祭は、今年も中止の方向になっている。
- ・夏にはまだ開催は難しいと思われるが、秋ごろには広場で中学生以下くらいを対象にイベントを開催したいと考えている。なお、神社を利用した持ち投げなどは密になるため開催が難しい。

■各役員について

- ・自治会役員は、任期をトラブルなく無事に過ごしたいという気持ちがあると思われる。何かあった場合は、任期中だけでなく10年先まで言われ続けてしまう。
- ・各役員の任期は1～2年だが、コロナ禍により活動が中止になり続けていることで、活動の継承が難しくなっている。
- ・高齢者が新型コロナに感染すると、重症になる可能性があり、未だ活動の実施を躊躇している。
- ・活動を再開することを選択する町、自粛を選択する町それぞれの選択で良いと考える。
- ・なんとなく行事を再開しても良いという雰囲気だけでなく、確固たる自信が欲しい。
- ・新型コロナの感染者について、居住区の発表はあるが、町までは明らかにされない。町や地区単位の感染者数を知ることができれば、感染者数が少ない根拠となり、活動を再開しやすくなる。

〈五島地区グループワーク報告〉

■江之島町公民館の開放について

江之島町自治会長が自身の母親がデイサービスに通ったことで歩けるようになり、出かけることの大切さを感じ、江之島町にも閉じこもっている高齢者がいると考え、現自治会長が自治会長になって2年目の時から公民館の開放について江之島町自治会の役員会（不定期）で話をしていた。

江之島町はエシャレット農家が多く、出荷作業は高齢になってもできるため、高齢者は農家の貴重な戦力になっている。木曜日は基本エシャレットの出荷がなく、地域住民が誰でも自由に使えるよう公民館を開放できたらと考えている。なお、コロナ禍により計画は実行に移せずにいる状況である。

無料で開放する計画で、自治会にて鍵の開閉の当番ができればと考えている。公民館に来た人には名前を書いてもらう予定。なお、常駐する人がいないので「高齢者が一人で来て倒れてしまったときなどの対応はどうしたらいいか」などの心配がある。

➡市社協にて、似た活動がないか探し、情報提供する。

公民館の開放にあたって、何か楽しめるものが館内にあれば良いのではと考え、カラオケの機械を自治会で購入することも検討している。解散した囲碁クラブの道具や将棋セットもある。花札や麻雀に興味がある人も多いので、用意しても良いかもしれない。公民館の中心の和室にはテレビもある。ふれあい交流センター江之島へマッサージ機を利用しに行っている人もいるため、マッサージ機の使わなくなったものがあれば、もらって設置できると良い。

公民館が情報発信の場となることで、情報を求めて地域住民が集まるようになるのも良いと思う。公民館に集まった人たちの中で「今日は温泉に行こう」などという会話が生まれ、有志で出掛けるようになるなどきっかけになれば良いと思う。

周知方法は、回覧板にて自治会役員会の議事録を回す予定。

➡市社協でチラシ作りなどのお手伝いをすることも可能である。

開催の時期は、そろそろ動き出しても良いかなというところである。自治会の役員会にて話をし、決める予定（その話をする際には、市社協にも教えてもらえるとのこと）。

■シニアクラブの活動について

- ・新型コロナが流行し始めてから現在まで活動を中止している。松島町にあったシニアクラブがなくなり、五島地区のシニアクラブは4つになった。再開頃は、新型コロナが収束し次第である。何か起きてしまうことを考えると、代表者側から「やります！」と言えない状況。市全体のシニアクラブの活動が今月から始まるころなので、今後徐々に再開されていくのではないかと。

■老荘会の活動について

- ・老荘会は、ほぼシニアクラブのような活動。活動が中止になり来なくなった人もいる（老荘会の活動に付随していた旅行を楽しみにしていた人もいた）。最近、老荘会の会長が小学校の子ども達と一緒にボッチャを楽しむ企画をした。

	<p>■ 囲碁クラブについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 南陽協働センターと五島協働センターにて囲碁クラブが開催されていたが、ふれあい交流センター江之島を会場にすると会場費がかからないため、木・土・日曜日にふれあい交流センター江之島にて囲碁クラブが開かれるようになった。 <p>■ 五島地区のお寺の活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 五島地区にはお寺が多いように感じるが、お寺を活動の会場とすることは可能なのか。 ➡ 五島地区にて住民が集まれる場所といえば、集会所かお寺かお宮である。江之島町は公民館が町の中心にあるので集まりやすい。大昌寺でコールオテラという歌の活動があったが、諸事情により活動はなくなってしまった。 <p>■ 五島地区の買い物事情について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 移動スーパーとくし丸が遠州浜1丁目と4丁目に来ていると聞いた。2丁目と3丁目の人達は、買い物に困っていないのか。 ➡ 2丁目と3丁目は、遠州浜において世帯数が一番多い。遠鉄ストア立野店の無料送迎バスを利用している人が多く、バスが定員いっぱいになることもある。また、3丁目に“ふじこし”という衣料品店があり、そこでお惣菜やお弁当を買っている人も多い。 <p>■ 農業の活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農家が育てた野菜を公民館前にて無人販売などをすることは可能か。 ➡ 地域住民は、自分達の家で食べる農作物を作っているため、野菜売っても需要がないと思われる。 ➡ 松島町の「ゆいサポート」にてイチゴが販売されており、販売時期には縦列駐車の前ができる程好評である。地域住民があまり作っていないものであれば需要があるかもしれない。
<p>今後の見通し等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 居場所への男性の参加が課題となっているため、男性の参加が多いという古川町のサロンについて情報を収集する。また、地域住民がリハビリのための活動を生かしているサロンへ訪問する。（芳川地区） ・ 地区や町ごとの新型コロナウイルス感染者数がわかれば、活動を実施しやすいとの意見を関係機関へ伝える。（河輪地区） ・ 遠州浜1丁目と4丁目における移動スーパーを取材する。（五島地区） ・ 引き続き江之島町公民館の開放に向けて支援していく。（五島地区）